

1 活動のねらい

対戦式のゲームをしながら、状況判断力や精神力などを養い、協力や友愛などの好ましい人間関係の育成を図ります。

2 活動の概要

雪遊びの延長として楽しめるものであると同時に、チームワークも必要な戦術性の高いゲームです。相手チーム全員に雪玉を当てるか、相手コートにあるフラッグを取るかで勝敗が決まります。3セットマッチ（1セット3分、2セット先取で勝ち）

3 人数・時間・場所

- (1) **人数** 14名以上（1チーム7～10名×2チーム）
- (2) **期間** 1月～3月中旬（室内用のスポーツ雪合戦については通年で利用できます）
- (3) **時間** 1～3時間程度（チーム数による）
- (4) **場所** ソフトボールグラウンド

**4 指導について**

活動は、原則、団体の自主活動となります。はじめての場合、別紙「競技方法とルール」を参考に、事前指導を行うことにより、円滑な活動ができます。依頼があれば、職員が活動の進め方を説明します。

5 準備する物

区 分	内 容
団 体	・防寒着，防寒具
交流の家	・シェルター，雪玉製造機，ヘルメット，フラッグ， ストップウォッチ

6 活動の流れ

活動の流れ	内 容
物品借用 準備	・代表者が，シェルター，雪玉製造機，ヘルメット，ストップウォッチを借用 ・会場でコート，シェルター等を設置 ・ルール確認，準備体操
活動	・自主活動
活動終了	・活動場所の復元と片付け ・職員立ち会いのもと，借用物品を確認し，返却

スポーツ雪合戦の進め方

1 試合形式

1セット3分間 3セットマッチ (2セット先取)

2 人数

- ・1チーム7～10名。(選手7名, 補欠2名, 監督1名, 監督兼選手も可)
- ・ゲームは7名で行う。(フォワード4名, バックス3名)

3 使用雪玉

1チーム1セット90個を使用する。(ゲーム前に3セット270個用意)
※専用の製造機で用意する。

4 勝利方法

敵チーム全員に雪玉を当てるか敵チームのフラッグを取る。または, タイムアウト時に人数が多く残っている。

5 服装など

- ・ヘルメットを着用し, あごひもは必ずかける。
- ・スキー靴やスパイクは禁止。

6 競技のルールなど

- ・スタート時, 1人2個まで雪玉を持つことができる。
- ・全員が自コートバックラインを踏んでスタートの合図を待つ。
- ・フライングをしたチームに「警告」が与えられる。警告2回で失格となる。
- ・フォワードは, 自コートのバックラインよりも前でプレーする。(バックラインより後ろに行くアウト)
- ・バックスは, フォワードがアウトになった場合, フォワードとしてプレーすることができる。
- ・ゲーム中にセンターラインを越えて相手コートに入れるのは3人まで。4人目が入った場合は, その時点でそのセットを失う。
- ・サイドラインとエンドラインを越えたらアウトとなる。
- ・雪玉のパスは, 直接手渡ししか転がして行く。投げたパスは, パスをキャッチした人がアウトとなる。(敵味方に関わらず, 手を離れ空中に浮いた雪玉が直接体や着衣に触れたらアウト)
- ・コート上やシェルターの上に置いた雪玉を受け取ってもよい。
- ・ゲーム中に新たな雪玉をつくる, 雪玉をウェア等に隠し持つ, すでにアウトになっている人から雪玉を受け取る, これらをしたプレーヤーはいずれもアウトとなる。

7 コート

※一般用コートサイズ ()内は小学生用サイズ

